ミツバチの一枚画コンクールが学びに活かされています

ミツバチが教えてくれる大切なことや、当コンクールを子供たちの学びや喜びにつなげていただいている例を紹介します

ミツバチが教えてくれる大切なこと

ミツバチは家族で支え合っている

ひとつの巣箱には女王バチ、働きバチ、オスバチがいて、それぞれがもつ大切な役目を一生懸命に果たしながら、助け合って「家族」で暮らしています。

みんなは一人のために

ミツバチは一匹一匹が様々な役割を担いながら共に生きている社会性の昆虫です。それは私たち人間も同じ。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の奉仕の気持ちをミツバチは教えてくれます。

ミツバチからの貴重な恵み、命の重み

一匹のミツバチが花畑を飛び回り、一生かかって集められるはちみつの量は、スプーン一杯分にもなりません。はちみつには、ミツバチ一匹の命の重さが詰まっています。

ミツバチと触れ合う子供たちの様子

※過去のみつばち教室の様子

ミツバチ○×クイズ

正しいと思ったら○、間違いだと×をつけてみましょう！

1. 働きバチは成虫になった後20日間程度は外出しないで、巣箱の中で役割分担をしながら仕事をしている
2. ミツバチは、巣箱の中を育児に最適な温度まで下げるために水を運ぶ
3. はちみつは傷口を治療するために使用されてきた歴史がある
4. 働きバチは餌の豊富な春は冬の間よりも長生きし、新しく生まれたハチを協力しながら育てている
5. ミツバチは、仲間に蜜が採れる植物の場所を教えるために巣箱の前でダンスを踊る

正解はHPでチェック！

コンクールウェブサイトからアクセスできます。

一枚画コンクール　検索

HPには様々なミツバチクイズをご用意しています。

簡単アクセス！

もっとミツバチについて学ぼう！
「みつばち広場」へ
http://honey.3838.com

受賞者の声

岩見 凛乃（いわみ りの）さん　第8回 入選　中高生の部（中学生）

このコンクールの内容を見たときに、「応募作品1点につき、1本の苗木を国内外に植樹する。」という社会貢献活動が行われていることを知り、私も少なからず力になれると思い応募しました。

このコンクールをきっかけに、自然環境の大切さや尊さ、思いやりの心などをたくさんの人に伝えられるように頑張ろうと思います。

豊野 真弓（とよの まゆみ）さん　第8回 入選　小学生の部（4～6年生）

家のベランダでハチが作っていた巣を覗いたとき、中に小さい卵をみつけたことがきっかけで、描いてみようと思いました。

作品を描きながら、ミツバチが子どもを大切に育てていることに気づき、私も、両親やお兄ちゃん、お姉ちゃんに大切にされていて、人間と同じだと思いました。

作品の応募が森づくりにつながる

養蜂業を原点とする山田養蜂場は、「自然との調和」を理念に掲げており、未来を担う子供たちに豊かな自然環境を受け渡そうと、1999年より国内外で植樹活動を続けています。これまでの植樹総本数は約218万本になります。

「ミツバチの一枚画コンクール」では、応募作品1点につき1本の植樹を行っており、昨年は第7回の応募作品と同数の16,204本を、国内外に植樹しました。過去に植樹した場所では森が蘇っています。

植樹地：ネパールの様子

2014 年　2019 年

コンクールに応募されるみなさまへ

応募者全員に参加賞を差し上げます。

団体奨励賞について

コンクールの発展に寄与した学校・団体に授与します。受賞した小学校には児童書のセット、幼稚園・中学校・高校・画塾などには弊社商品をお届けします。